



ともに チャレンジ！ 綾川中学校

学校だより No. 6

2025年6月17日

「社会を明るくする運動」 弁論大会を行いました

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。今年で75回目を迎えています。本年度のキャッチフレーズは、「Time with Hope—進む、希望とともに。」です。そのポスターには、次のような言葉があります。

がんばれるのは、どんなときだろう。
踏ん張れるのは、どんなときだろう。

自分を認めてくれるひとと言。
肩をたたく手の温かさ。
遠くから見守るそのまなざし。

待っている人の存在に気づいたとき、
立ち直れると信じられる。

たとえ時間がかかっても。

Time with Hope
進む、希望とともに。



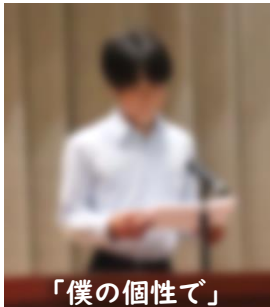
犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のデカラ
第75回 社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のデカラ
第75回 社会を明るくする運動



【社会を明るくする運動ポスター】

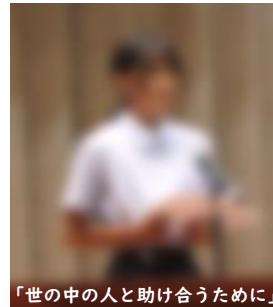
この国民運動として展開されている「社会を明るくする運動」に合わせて、本校では、5～6月にかけて、人権学習に取り組みました。まず、生徒全員が、日常の家庭生活や学校生活の中で体験したことや考えたことなどについて作文にまとめ、それらを学級で発表し合い、考え合う活動を行いました。そして、学年団から校内弁論大会へと活動の場を広げ、より深く人権について考える学習に取り組んでいると感じました。それぞれの弁論大会では、前向きな生徒の姿がありました。進行役として円滑に運営を行う姿、弁士として堂々と発表する姿、よい聴き手となり、感じたこと考えたことを書き記している姿などです。



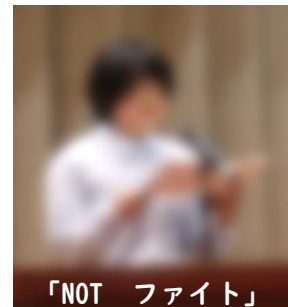
「僕の個性で」



「後悔の感情」



「世の中の人と助け合うために」



「NOT ファイト」

さらに、本年度は、坂出地区の予選会が本校で開催される年で、坂出地区の6つの中学校から選ばれた12名の代表による弁論大会を行いました。生徒たちは、代表の弁士が真剣に熱く主張する姿に引き込まれているようでした。どの主張からも日常を見直す視点が示され、改めて気づき、考える機会となったのではないのでしょうか。また、聴く態度も立派で、来賓の方々から「すばらしい聴き手」であったとお褒めの言葉をいただきました。

これらの弁論大会を通じての「気づき」や「考え」を、今後の生活の中で生かし、自分自身の成長と学級、学年、学校の「進化」につなげてほしいと思っています。期待しています。

【本校の代表者2名】

「ぬくもりのある言葉で
溢れますように」



「選択肢」

